

千葉大学医学部附属病院で前立腺全摘除術を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年11月21日

泌尿器科

泌尿器科では、ロボット支援下前立腺全摘における、術式、採血データ（血清テストステロンを含めた）、排尿、性機能、再発を含めた予後予測因子に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

1996年1月より2025年10月までに当院で前立腺全摘除術を受けた方

1. 研究課題名

「ロボット支援下前立腺全摘における、術式、採血データ（血清テストステロンを含めた）、排尿、性機能、再発を含めた予後予測因子の探索」

2. 研究期間

2025年承認日～2028年3月31日

この研究は、附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

前立腺癌に対する手術療法において、術後排尿・性機能スコアを記録することで、どのような方にどのような治療方法が適しているかを検討する目的で行います。

1996年1月より2025年10月までに得られたデータを対象といたします。外来受診時に採取した、血液検査（血算、生化学、腫瘍マーカーなど）、尿検査、術後排尿・性機能スコアの結果を用いて解析いたしますので、本研究のために追加の採血、採尿検査を行うことはございません。

4. 研究に用いる情報の種類

手術時に採取された前立腺癌組織検体の病理学的情報、手術前後の血液検査値（血清テストステロンを含めた）、再発の有無、術後性機能・排尿機能に関する診療録に記載されている病歴。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：泌尿器科 診療教授 坂本信一

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院泌尿器科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。
(※研究成果の発表後以外に参加拒否の申し出に対応できないケースがあれば、その旨も記載してください) 情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

泌尿器科 診療教授 坂本信一

0 4 3 (2 2 2) 7 1 7 1